

新成人12人市に提言

小林市長と懇談

八戸

八戸市の小林眞市長と、本年度20歳になる新成人の懇談会が23日、八戸グランドホテルで開かれた。イベントの周知方法など市の課題や対策について意見を交わし、新成人たちが「学校で学んだことを使って八戸に貢

献していきたい」などと今後の抱負を述べた。市が主催し毎年開催。八戸学院大や八戸工業大などから学生12人が参加した。一人一人が八戸の魅力や将来の夢などを紹介した後、意見や提言を発表した。

八戸高専5年の市川夏音さん(20)は中心街のイ

ベントが若い人あまり知られていない現状を挙げ、「新しいことを始めるのいいが、まずはあるものを知らせることが必要」と主張し、情報発信の在り方を提案した。これに対し小林市長は「確かにチラシやホームページでの告知だけでは、なかなか効果は出にくい」とし、「SNS(会員制交流サイト)を使った情報発信に力を入れ、若者の間でも取り上げられるような仕組みを検討していく」と答えた。この他、交通安全意識高揚のための方法など、さまざまなテーマで話した。



小林眞市長(手前)に意見を述べる新成人

最後に八戸青年会議所の田島理成理事長が「八戸の未来に夢を感じた。これから皆さんと共に八戸をつくっていききたい」と呼び掛けた。

(中山瑞希)